

<1999>

●志士の会 30周年記念誌

氏名	中井 俊作	
入社の際	20世紀末	自宅住所
 <p>3年間、千葉県の 君津製鐵所に勤務。</p>		〒 863-2423 熊本県天草郡五和町大字井手 2 6 4 6 Tel & Fax : 0969-34-0054 Tel 専用 : 0969-34-0230 E-mail :
		※子 単身赴任住所
		「志士の会」: 昭和44年春、八幡製鐵KK入社 77名の同期会 (翌45年、八幡・富士は合併、新日本製鐵KKに)
勤務先	自営業 (自給的農林業+社会活動)	
所属、役職	所属団体: 日本有機農業研究会、熊本県有機農業研究協議会、地球緑化の会、 緑健ネットワーク、...	
通 信 欄 / 近 況 報 告		
<p>今世のこと: 947年5月退社, 同年暮の総選挙で落選。後始末をほぼ終えた 50年に親父が急逝, はからずも天草の田・畑・山林・家屋敷を預かることになったが ともとも小生が政治家を志した動機は人口(食料・環境・エネルギー)問題であったから, 信任されるかた以上は己の口を糊するためにも鉄を握るのは自然・当然・必然のことと(20代の迷いにけりをつけて)食物の自給自足(玄米・菜食を主軸)の生活に歩みを進めた30代。日本経済の膨脹に翻弄される農村で子育て, 親育ち, 野良・山仕事のかたわら 地域“乱”南登に抗して 行政と綱引き, 悪戦苦闘した40代。50代に踏込んでからは食料・農業・農村基本法(今国会で審議中)にからんで 所属するNGO(日本有機農業研究会)の対策幹事として(野良仕事を続け)ロビー活動。退社当時面識を得た友人・知人達の幾人かは代議士, 官僚幹部として永田町や霞が関におり又し振りに顔と合わせたこの2年余。こちらは弟AAとして功計り難く, 今年の心境は“あきらめないけど頑張らない, 頑張らないけどあきらめない”。2001年秋は蓄え(祖父の代に育林した立木の売却代金)で自途を立てていた生活設計(年間の生活費50万, 但し社会活動費50万の外, 家の管理・農機具類の償却分積立, 公租公課, 年金・保険, 慶弔費などは別会計)はこの間, 近辺で経済破綻した人達の救援が予定が狂い, 現在は妻のパート収入(行局窓口業務)で賄っている。高等教育は通信制でと言ひ含めてきた娘二人だが長女は「友達が好き」と新田配達, 自転車通学を条件に昨春より高校進学。時に娘に代わって配達のパイルと踏まが その分の手当が小生の小遣い。</p> <p>さて, この先のこと: クライマックスを迎える“大競争”の流れに抗わば 消耗, 乗らば破局への道行き, しからは離れて自給・自律・持続的の循環経済を支えるに足る“農力”ある社会作りに力かまんと... “土”から離れた人には“兼農化”を勧め, “お金”が力と失ってしまうような状況を迎えても構わないよ『平成0分田』なるものを提唱して『農地トラスト』を立ち上げて... “青山緑水園土豊”という次中。</p>		